

## 当時の思い出

水野陽介 (平成19年度卒業生)

那加中学校、創立70周年おめでとうございます。

2008年の卒業生の水野です。卒業して早10年!! 月日が流れるのは早いですね!!

私が中学3年生の夏はイオン各務原が建設途中でした。(笑)

那加中学校での思い出と言えば、やはり部活動です。野球部でキャプテンを務めさせていただき、毎日グラウンドで汗を流していました。知っていましたか?? 那加中のグラウンドは昭和40年に国体の会場になっていたんですよ!! 野球部のネット周りは観客席の名残が残っていますよね。あの段を使つての冬のトレーニングはまさに地獄でした。那加中のグラウンド、指導にあたって下さった先生、コーチ、保護者の支えがあって中体連では県大会まで出場できたのは本当に良い思い出です。

もう一つ、今でも修学旅行は白石島なのでしょうか?? 白石島の横の北木島は千鳥・大悟の出身地らしいですね!!

各務原を離れた今でも年末年始、お盆に帰省すると必ず集まるほど、地元の仲間たちは一生ものです。今を精一杯謳歌しましょう!!

### 恩師のたより

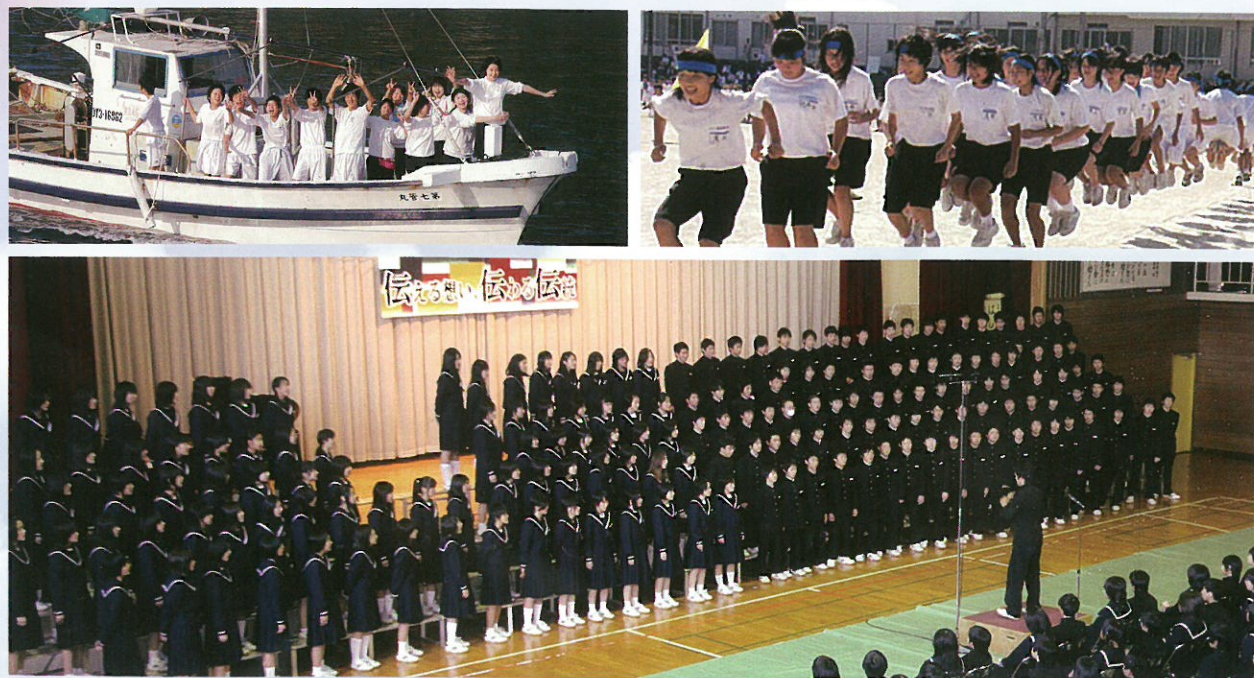
誇り高き 那加中学校 植田一浩 (平成19年度3年学年主任)

略 真剣に学習に向かう姿、黙々と掃除に取り組む姿、何気ない会話でもお互いの心を感じ取ろうとする姿。すべてが笑顔につながった。～(中略)～ そこには様々な仲間のつながりが…。

那加中学校3年間で学んだ「仲間の思いを大切にすること」、「自分の役割を果たすこと」。このことは人生の支えとなる。……偽りのない自分をめざして…頑張れ! 平成19年度 卒業生

10年前に発行した第3学年の最終通信の一部です。10年という月日が過ぎ、今読み直しても、あの頃の充実した日々が鮮明に思い出されます。仲間と磨きあった3年間。那加中学校生徒であることの誇りをもって生活していた生徒たちが私たち教員の誇りでもありました。

卒業し、それぞれ選択した道は違っても、今も自分の志に向かって、「偽りのない自分」をつくりあげてください。素敵な那加中学校卒業生……今、何をめざしていますか?



## 当時の思い出

奥村紘平 (平成20年度卒業生)

私の中学校生活での思い出といえば、やはり生徒会での活動だと思います。初めは友人と何か大きなことがしたいといった軽いものでしたが、次第に「生徒会活動を真剣に行うこと」が楽しくなってきました。

これからどんな活動をしていきたいかを生徒会の仲間と日が暮れるまで話し合ったこと。いつもより何分も朝早く学校に来て登校してくる皆にあいさつをしたこと。全校集会で話す言葉を何回も何回も練習したのに本番で緊張してうまくいかず、非常に悔しい思いをしたこと。体育祭の時、会長の言葉の最後で叫んでエールを送ったこと。他の中学校の生徒会と交流会をした時のこと。私を助け色々なことを教えてくれた友人や先生方のこと。こうして原稿を書いていると当時の思い出が書ききれないほど次々と浮かんできます。

那加中学校は私にとって多くの思い出を作った懐かしい場所です。そして今後も多くの人にとってもそうなることを心から願っております。

### 恩師のたより

那加中激動期 小倉国義 (平成20年度3年学年主任)

私が那加中学校でお世話になった7年間は、大きく学校が変わりゆく年でもありました。長野県車山高原で行われていたスキー研修が、奈良県川上村での森林体験学習になり、その後、長野県の農業体験へと移行していきました。

体育大会もお祭りの行事から学級の団結力を競う行事へと変わっていきました。現在の新しい体育館の具体的な設計が検討されていたのもこの時期です。

また、「IT那加」のスローガンの下、職員会はペーパーレス化し、提案はプレゼンテーション。各学級にもパソコンが配備され、生徒の手で毎日学級のホームページが更新されていました。

こんな激動の時代でしたが、生徒たちは落ち着いて学習に取り組み、質の高い授業が日々行われていました。合唱も、組曲「地球」を中心に取り組み、校内の合唱発表会は非常に盛り上がりました。

今でも、那加中学校での経験は私の心に深く刻まれています。今後益々の発展を祈念しています。

